

* 広町緑地の植物だより *

秋・果実

2006年10月31

鎌倉市七里ガ浜・角田紀之

- * 広町緑地の秋がだんだん深まっています。ミゾソバやイヌタデも盛りを越えたようです。ハゼノキが色づき始めました。真っ赤なカラスウリがいくつもぶら下がっているのが 御所が谷の南側の水路近くで見られました。もう花は少なくなりましたが その代わりにこれからいろいろな果実が見られるようになります。自然は次々に変わった姿を見せてくれるので同じところでも飽きることはありません。
- * 今回は多少珍しい“秋の実”を紹介したいと思います。花に見とれていると後で思いもよらないような実がなったりして面白いのです。(全くこんな楽しみはわたし一人だけにはしたくない。)

(1) ガマズミ (スイカズラ科)

落葉低木。実は食べられる。甘酸っぱい。果実酒を造ります。
右下の花は初夏。



(2) スズメウリ (ウリ科)

果実をご存知カラスウリよりずっと小さいことから名前がつけられたとか。秋に真っ白い玉になります。右下の花は夏。



(3) ツルニンジン (キキョウ科)

花のあとです。まるでクリスマスの飾りに使う星のような形ですね。つる性の多年草でこれは御所が谷入口より **10m** ぐらい南に進んだ右手のところ。花は夏~秋。 **2~3cm** のわりと大型の花です。別名：ジイソブ



(4) キツネノカミソリ (ヒガンバナ科)

早春に葉が伸び夏になると枯れる。その後花の茎がすくと伸びて先端に花が咲く (右下)。夏の終わりから秋にかけて実をつける。



(5) キンミズヒキ (バラ科)

タデ科のミズヒキにたとえて名前がつけられた。金色の穂のような花は
広町の夏をかざり美しい。花のあと思わぬ形になって秋になると衣服に取り
付いて厄介者となる。人も？花も見かけによらないから要注意か？



(6) ノササゲ (マメ科)

つる性の多年草。紫色のいい色をしている。やがてこれがはじけて中からやはり綺麗な紫色の宝石のような丸い玉が顔を出す。花は夏。これは前のキンミズヒキと違い 花も実もよい。しつこくとりついたりしない。



(7) カラスウリ (ウリ科)

最後にご存知カラスウリ。大変よく知られている。しかし花を見た人は少ないのではないか？花は日が暮れると開き夜明け前にしぼむ。右下の花は夏の夜10時頃のもので、マダムが夜の舞踏会に出かけたみたい。



(終わり)